

各位

会社名 株式会社ネクストジェン
代表者名 代表取締役 執行役員 社長 大西 新二
(JASDAQ コード: 3842)
問合せ先 執行役員 管理本部長 齊田 奈緒子
(TEL. 03-5793-3230)

**販売目的ソフトウェアの追加償却及び特別損失の計上、
並びに通期業績予想の修正及び配当予想の修正（無配）に関するお知らせ**

当社は、2021年3月期決算において販売目的ソフトウェアの追加償却及び特別損失を計上いたします。また、最近の業績の動向等を踏まえ、2020年5月20日付にて発表いたしました通期連結業績予想及び期末配当予想について、下記のとおり修正することとしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 販売目的ソフトウェアの追加償却の計上について

当社の販売目的ソフトウェア製品について、今期の販売実績と現時点における販売見込みを踏まえて評価を行った結果、減価償却費70百万円を売上原価に追加計上する予定です。

2. 特別損失の計上について

(1) 投資有価証券評価損

当社が保有する海外の投資有価証券について、実質株式価額が下落し、当初想定した事業計画から乖離が発生していることを踏まえて株式の再評価を行った結果、株式評価損54百万円を特別損失に追加計上する予定です。

(2) 連結決算（のれん及び自社利用目的ソフトウェアの減損損失）

当社の連結子会社であるアクロスウェイ株式会社及び株式会社LignAppsの業績が当初想定していた計画を下回って推移したことから、アクロスウェイ株式会社におけるのれんの全額を減損処理し、減損損失として72百万円及び株式会社LignAppsで自社サービス運用に利用しているソフトウェアの減損損失として37百万円を連結決算における特別損失に追加計上する予定です。

(3) 個別決算（関係会社株式評価損）

上記(2)と同様に、当社が保有するアクロスウェイ株式会社の実質株式価額につきましても、同社の業績を鑑み、関係会社株式評価損31百万円を個別決算における特別損失に追加計上する予定です。なお、本株式評価損については、当該子会社が連結子会社であり連結決算上相殺消去されるため連結業績に与える影響はありません。

3. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	3,800 ～4,500	60 ～200	54 ～194	38 ～136	14.75 ～52.78
今回修正予想（B）	3,960	△70	△70	△250	△97.03
増減額（B－A）	160 ～△540	△130 ～△270	△124 ～△264	△288 ～△386	
増減率（％）	4.2 ～△12.0	-	-	-	
（ご参考）前期実績 （2020年3月期）	3,878	△574	△580	△543	△248.76

(2) 修正の理由

2021年3月期通期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、いずれも2020年5月20日に公表した業績予想のレンジの下限を下回る見込みであります。

売上高においては、地域エンタープライズ事業が計画比を下回ったものの、大手通信事業者への自社ライセンス販売や大手通信サービス会社への案件の受注により予想レンジの範囲内となる見込みであります。なお、モバイルデータソリューション事業である大手通信サービス会社への大型案件の受注が第2四半期にありましたが、検収時期は2021年度中を予定しております。

利益面においては、営業利益は上記の販売目的ソフトウェアの減価償却費の計上を除くと黒字での着地となる見込みでしたが、前回発表予想を下回る結果となった要因としては、新規事業であるCPaaS事業の立ち上がりや、ローカル5Gの市場の動きが当初の見込みより遅れていること、事業拡大に向けて買収した事業の一部の不採算を解決できていなかったことなどがあります。親会社株主に帰属する当期純利益については、上記のとおり投資有価証券評価損の計上、子会社におけるのれん及び子会社における自社利用目的ソフトウェアの減損損失の計上を予定していることから、当初予想を下回る見込みとなりました。

4. 配当予想の修正について

(1) 2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （2020年5月20日発表）		円 銭 未定	円 銭 未定
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	円 銭 0.00		
前期実績 （2020年3月期）	0.00	0.00	0.00

(2) 修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営成績及び財政状態を勘案した上で、将来の事業拡大のために必要な内部留保とのバランスを保ちながら、実施していくことを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、上記のとおり親会社に帰属する当期純利益が予想数値（レンジ形式）を下回る見込みとなったため、これまで未定としておりました当期の期末配当を誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期に復配ができるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上